谷中の地と図

た。



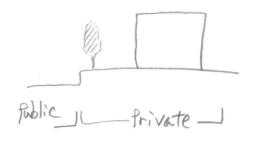
トとの間にセミパブリックな空間 イベートの境界として存在 が存在

不忍通りから一歩入ると住宅地と仏閣、商店街の三者が混ざり合った街並みとなっており、 住宅地は昔からある路地裏に古い木造の建物から少し新しい建物、新しくできた私道と新築住居、 暗渠であるへび道とそこに沿ってできた建物と路地。新旧の道と建物でこの土地は構成されてい



Public Il Private -0、仮定 パブリックとプライベー 1、道の際に塀がパブリックとプラ





2、道沿いに建物の壁面が直接面する



Public Je Private 3、植え込みや駐車場などで道か らセットバックして建物が配置





結論

- 1のパターンは古い建物に多い。
- ・2のパターンは基本的に古い建物には少なくア パートや新築住宅に多く見られた。
- ・3のパターンは、車を持ちある程度の幅ある道に 面した住居で古い建物に少ない。

もともと道の狭い路地ではそもそも家の前に駐 車場がある家は少なく、その分大きい駐車場がいく つか見受けられた

→西洋の町並みのように建物間の隙間に中間領域 を作るのではなく

昔の日本人はプライベート空間に庭を設けるため パブリックとの境に塀を作っていた。

それが現代では少しずつ自分の土地に庭より生活 空間を優先する傾向が高まってきたのではないか と考えた。